



エイム・イングリッシュ・スタジオ
〒592-8346堺市西区浜寺公園町2丁141-26
Tel: 072-263-0890 Fax: 072-262-3869

① コミュニケーションの始まり

'The Beginning of Communication' by TIMOTHY W. POLLOCK, M.A.

これは、日本の公立学校でよくみかけられる英語の授業の1シーンです。

先生：「Do you like pizza? (ピザ、好き?)」 生徒A：「わからへん。」
先生：他の生徒に向かって「Do you like pizza?」 生徒B：「Yes, I do. (はい。)」

日本の教室では、生徒が「わかりません。」と言ってしまうと、それでその生徒との会話が終わってしまい、先生は他の生徒に質問をしていきます。しかし、実際の生活の場面においては「I don't understand. (わかりません。)」と答えることは、本当の意味でのコミュニケーションの始まりなのです。

英語を母国語とする人が「I don't understand.」と言うときは、それは、その人が相手にわからないことを教えてほしいということなのです。いいコミュニケーションは、話し手と聞き手がお互いを理解しようと努めることから始まります。たとえば、こんな感じですよ。

- A： 「Do you like calligraphy?
(calligraphyは好き?)」
- B： 「I'm sorry, I don't understand. What does 'calligraphy' mean?」
(ごめんなさい、よくわかりません。'calligraphy'ってどういう意味ですか?)
- A： 書道をしているマネをしながら「Writing kanji with a brush, you know.」
(筆で文字を書くことですよ。)
- B： 「Oh! Shodou! Yes, I like calligraphy!」
(あっ、書道ですね。ええ、私は好きです。)

聞き手がわからないと伝えることは、話し手に教えてほしいと伝えることであり、本当のコミュニケーションなのです。だから、わからないことがあった時は、緊張したり恥ずかしがったりしないで「よくわかりません。」「それ、どういう意味?」等質問することが大切です。そうすれば、いつでも答えを得ることができるのです。

「I don't understand.」は決して会話の終わりではありません。コミュニケーションの始まりなのです。